

NPO 横断型基幹科学技術研究団体連合
2006 年度 第 1 回理事会 議事録抄録 (案)

日時：2006 年 4 月 24 日 (月) 18:00 ~ 20:00

場所：東京大学 山上会館 (東京都文京区)

出席者：(敬称略、順不同)

理事：木村英紀、江尻正員、旭岡勝義、石原 直、長田 洋、木村忠正、榎木哲夫、
佐野 昭、鈴木久敏、出口光一郎、西村千秋、能勢豊一、原 辰次、廣田 薫、
藤井真理子、松永 是、安岡善文、矢川元基
委任状提出者：林 利弘、清水義雄
事務局：井上雄一郎、清水祐美

議題：

0. 開会手順 (議長の選任、定足数の確認、議事録署名人の指名)

A. 報告・承認事項

- A-1. 前回議事録案および同抄録案の承認
- A-2. 第 1 回横幹連合総合シンポジウム (仮称) について
- A-3. 各委員会からの報告 (総会にて報告済みのため原則として省略)
- A-6. その他

B. 審議・決議事項

- B-1. 役員の役割分担
 - (1) 正副会長の選任
 - (2) 役員の役割分担
- B-2. 役員への権限委譲と理事会への報告について
- B-3. プロジェクト一括請負体制について
- B-4. 調査研究会の新規設置申請について
- B-5. 2006 年度の活動方針について
- B-6. その他

議事：

I. 理事会成立の確認：理事総数 23、出席者 20 (うち、委任状提出者 2)

II. 議長の選任および議事録署名人の指名

議長：木村英紀理事

議事録署名人：木村英紀理事 (議長)、江尻正員理事、出口光一郎理事

III. 議事経過の概要および議決の結果

A. 報告・承認事項

A-1. 前回議事録案および同抄録案の承認

前回理事会の議事録案、同議事録抄録案を確認した。

A-2. 第 1 回横幹連合総合シンポジウム (仮称) について (佐野理事)

開催案が報告された。

- ・ 2006 年 12 月 1~2 日に、キャンパスイノベーションセンター (東京・田町) にて開催する。実行委員長は佐野理事。
- ・ 第 1 日目は「タテとヨコ」をテーマに、大規模の学会を代表する方を招いて講演、パネル討論を行う。第 2 日目はオーガナイズドセッションを 9 つ (講演 50 件程度) 行う予定。

A-3. 各委員会からの報告

同日に開催された総会にて報告がなされたため、省略。

B. 審議・決議事項

B-1. 役員の役割分担

2006年度役員の役割分担を検討し、以下の通りとした。

(1) 正副会長の選任

会長：吉川弘之理事、副会長：木村英紀理事、江尻正員理事

(2) 役員の役割分担

検討の結果、別表（HPに掲載）の通りとした。なお、監事は業務全般について適宜アドバイスを行う。

また、分担検討にあたり、次のことが確認された。

B-2. 役員への権限委譲と理事会への報告について

各業務遂行の効率化を図るため「理事会の運営に関する内規」が提案され、審議の結果承認された。

B-3. プロジェクト一括請負体制について（江尻理事）

横幹技術協議会との連携で取り組む個別プロジェクトについて、一括請負にかかわる進捗状況が報告された。

- ・個別プロジェクトの契約書（1企業と複数の大学等研究機関との間で交わす契約）のひな型を作成した。企業側の法務担当者等を交えて検討を重ねた結果を反映させたものであり、今後、具体的な適用に向け修正を加えていく可能性はあるが、このひな型を横幹連合の基本姿勢とし、企業・大学の両サイドに提案したい。

B-4. 調査研究会の新規設置申請について（鈴木理事）

次の1件の申請があり、審議の結果、設置を承認した。

- ・システム工学とナレッジマネジメントの融合に関する調査研究会（幹事学会：計測自動制御学会）

B-5. 2006年度の活動方針について

2006年度総会にて承認された活動方針に基づき、次のような討議を行った。

(1) ナショナルイノベーションパイプライン網構築のための検討（出口理事）

科学技術総合会議が科学技術振興調整費による掲題の調査研究を計画している模様。横幹連合として参加する可能性について調査・検討していることが報告された。

- ・この委託調査研究について「『重要政策課題への機動的対応の推進』に係る実施計画書」が示され、審議の結果、一部、横幹技術協議会の協力も得ながら、推進することが承認された。
- ・外部機関等からの調査研究にかかわる内規を制定することが提案された。審議の結果、原則として文部科学省の科学技術振興調整費の積算用資料等に基づいて、内規案を作成することとした。本件は、総務担当理事と事務局に一任する。

B-6. その他

(1) 第2回横幹連合コンファレンス（2007年度開催）について（木村理事）

開催準備に向けて検討した。

- ・併催の場合は単独の学会ではなく、複数学会による共同大会との併催が望ましい。統計、FAN等を打診したが2007年度の併催は困難な状況。
- ・単独での開催も含めて検討する。複数の会員学会を幹事学会として進めることを考えてはどうか。例えば、幹事学会は順次交代して担当してはどうか。

以上